

# 《労働災害発生状況》

1 署別・業種別件数（令和元年分） （ ）内は木建工事 ○内は死亡者数 令和元年5月31日現在

署別	業種別		土木工事		建築工事		設備工事		計		前年同期		全産業		
金沢監督署			4	(8)	15		4	(8)	23	(4)	19			249	
小松監督署			6	(2)	3		1	(2)	10	①	(2)	7	①	74	
七尾監督署	①		2	(3)	6		2	①	(3)	10	(2)	8	①	48	
穴水監督署			3	(1)	2			(1)	5		(2)	3	①	20	
計	①		15	(14)	26		7	①	(14)	48	①	(10)	37	③	391
前年同期			10	①	(10)	15		12	①	(10)	37			④	488

2 署別・業種別件数（平成30年確定値）

署別	業種別		土木工事		建築工事		設備工事		計		前年同期		全産業			
金沢監督署			9	(17)	42	①	25	①	(17)	76	①	(12)	72	⑧	738	
小松監督署	①		12	①	(8)	18		②	(8)	30	②	(8)	24	④	301	
七尾監督署			5	(6)	9		12		(6)	26	②	(4)	21	①	136	
穴水監督署			3	(8)	12				(8)	15	②	(5)	18	②	75	
計	①		29	①	(39)	81	①	37	③	(39)	147	⑦	(29)	135	⑮	1,250
前年同期			④	30	①	(29)	75	②	30	⑦	(29)	135		⑫	1,153	

3 全産業死亡災害事例（令和元年分）

令和元年6月10日現在

No.	発生日	業種	災害種類	発生状況	被害状況 死亡年齢	会員 非会員別
1	1月 七尾	道路建設工事業	交通事故 (道路)	のと里山海道上り線において、自動車がスピンをして停車しているのを発見したと被災者が110番通報を行っている途中で通話が途切れた。警察官が現場に到着した時には、被災者のライトバンを含む4台が絡む玉突き事故が発生しており、被災者が地面に倒れた状態で発見された。	50代	会員
2	4月 穴水	漁業	はさまれ 巻き込まれ	漁港にて漁獲された鮮魚を箱詰め等していた被災者が、自動砕氷供給機に下半身を巻き込まれた状態で発見された。	60代	—
3	5月 小松	旅館業	墜落・転落	保守担当者が客室棟をつなぐ渡り通路の外壁に造りつけられている通路において、脚立を使用して窓ガラスの清掃を行っていたところ、約19m下の小川に倒れているのを発見された。	70代	—

4 建設業死亡災害事例（平成30年分）

No.	発生日	業種	災害種類	発生状況	被害状況 死亡年齢	会員 非会員別
1	1月 小松	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	墜落 転落	建屋の鉄骨組立作業中、ボルト締め作業を行おうとしていたところ、足場の3段目(高さ約6.0m)から墜落した。	20代	—
11	9月 小松	河川土木工事業	切れ こすれ	築堤工事において使用するU型側溝を高速切断機(エンジンカッター)で切断加工中、切断機が反動で跳ね返り、切断作業を行っていた被災者の身体を切創した。	50代	会員
14	10月 金沢	機械器具設置工事業	墜落 転落	高さ4.5mの天井の照明器具取替工事において、高さ2.6mの脚立を用いて作業を行っていたところ、足を踏み外し墜落したものの。ヘルメットは着用していたが、墜落時は足元に転がっていたもの。	40代	—

5 死傷災害の推移 発生件数欄の上欄（ ）内は死亡者数

事項別	年	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		発生件数	全産業(A)	(16)	(20)	(11)	(11)	(11)	(8)	(15)	(10)	(9)
		1,139	1,084	1,085	1,137	1,091	1,053	1,067	1,016	968	1,153	1,250
	建設業(B)	(5)	(5)	(3)	(3)	(5)	(1)	(6)	(2)	(2)	(7)	(3)
		142	175	139	140	137	129	158	125	118	135	147
割合(%)	(B)/(A)	12.5	16.1	12.8	12.3	12.6	12.3	14.8	12.3	12.2	11.7	11.8
対前年比 (%)	全産業	▲ 3.1	▲ 4.8	0.1	4.8	▲ 4.0	▲ 3.5	1.3	▲ 4.8	▲ 4.7	19.1	8.4
	建設業	13.6	23.2	▲ 20.6	0.7	▲ 2.1	▲ 5.8	22.5	▲ 20.9	▲ 5.6	14.4	8.9